

平成29年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市2

千葉市立稲毛高等学校 全日制の課程 国際教養科

1 選抜資料

(1) 学力検査	県下一斉に同一条件で行う5教科の学力検査
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	検査2日目の受検者5名程度・評価者3名の集団面接 (1グループ12分程度)
(4) 海外在住状況 説明書	出国前・海外在住中・帰国後の教育歴

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、オ及びカについて加点したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で算出した数値で評価する。 3年次に、評定1の教科がある場合、または英語の評価が評定3以下の場合には審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の資料とする。
エ 特別活動の記録	総合的に判定する際の資料とする。
オ 部活動の記録	①部活動(10点満点) ②各種検定(10点満点) ③各種コンクール(10点満点)
カ 特記事項	以上の3点について、一定の基準を満たすものについて加点する。(30点満点)
キ 総合所見	総合的に判定する際の資料とする。

(3) 面接 各面接官が3段階で評価し点数化する。3名分を合計したものを評価点(30点満点)とする。2名以上がC評価の場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
志望動機・目的意識・適性・態度	左記評価項目に沿って面接検査を実施する。総合的に判断し、3名の面接官がそれぞれA・B・Cの3段階で評価する。

(4) 海外在住状況説明書

出国前・海外在住中・帰国後の教育歴について資料とする。
-----------------------------

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査及び学力検査、面接検査の結果を資料とし本校の教育を受けるに足る能力、適性等を総合的に判定して選抜する。
--

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取り扱いをすることがないように十分に留意する。
---

4 その他

過年度卒業生については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。
----------------------------------